



都立第五商業高等学校 定時制課程 グランドデザイン

本校の取組

- 丁寧できめ細かい指導
 - ・少人数授業
 - ・習熟度別授業
 - ・ティームティーチング
 - ・個別のニーズに応じた、補習や個別指導
- 資格取得支援
 - ・簿記
 - ・情報処理
 - ・実用英語検定
 - ・商業英語検定
- 様々な分野に関する講演会の開催
 - ・健康、食育、安全 等
- 充実した進路行事
 - ・早い段階からの進路に関する意識づけ
 - ・進路ガイダンス
 - ・進路面談
 - ・職業適性検査
 - ・就職・大学・専門学校分野別説明会

目指す学校像

本校の教育目標を「社会を支える一員であることの自覚のもとに、望ましい勤労観・職業観を養い、情操豊かで創造性に富む人間の育成」とし、次のような学校を目指していく。

- (1) 知性と感性に富む創造力豊かな人間を育てる
- (2) 明朗にしてたくましい心豊かな人間を育てる
- (3) 平和を愛し、国際社会に貢献できる人間を育てる

重点目標

- (1) 生徒と教員とによる授業の創造、資格取得の推進
- (2) 個に応じた進路実現
- (3) 基本的生活習慣の確立
- (4) 規範意識の向上
- (5) 地域や家庭との連携強化

生徒・学校の現状

創立 70 周年を迎えた伝統のある夜間定時制の商業高校である。生徒は落ち着いた雰囲気の中で授業を受けており、知識・技能の習得や資格取得（1人2種以上取得）に励んでいる。より上級の資格取得を目指す生徒に対しては個別指導を行い、生徒を支援している。卒業後は、多くの生徒が就職を希望しているが、3割程度の生徒は、四年制大学や上級学校への進学を目指している。そのため、基礎的・基本的な学力の定着はもとより、応用的な学力の育成や、主体的に課題を解決していく力を育てていく必要がある。

予想される社会の変化

情報通信技術をはじめとする科学技術の発展や急速なグローバル化が、社会の在り方に劇的な変化をもたらし、子供たちが将来就くことになる職業の在り方についても、技術革新等の影響により大きく変化することが予測される。IoT や AI の進化等により、今後は人間が行っていた仕事の半数近くが機械により代替される可能性が高い。このような情報化時代においては、コンピューターや機械に置き換えることのできない、人間の創造性や感性を養っていくことが重要になってくる。

【育成すべき資質・能力】

- 多様な解決方法が考えられる身近な問いや課題に対し、納得解を見いだす力
 - 他者と協働する力、論理的思考力、判断力、自己の考えを表現する力、異文化理解・他者理解
- 各教科・科目、特別活動での学びと社会や実生活を関連付けて考える力
 - 社会的課題等に関する知識・理解、課題解決のために必要な技能、論理的思考力、判断力、異文化理解・他者理解
- 学んだことを生かし、自主的に学び続ける力
 - 自らを振り返り、変える力、主体的に学びに取り組む力

【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力		レベル1	レベル2	レベル3
知識 技能	社会的課題等に対する知識、理解	社会的課題等に対する知識や理解を深めようとしている。	社会的課題等に対する基本的な知識をもち、理解することができる。	社会的課題等に対する幅広い知識をもち、深く理解することができる。
	課題解決のために必要な技能	各教科や特別活動等において身につけた技能を活用しようとしている。	各教科や特別活動等において身につけた技能を活用することができる。	各教科や特別活動等において身につけた技能を活用し、課題解決に生かすことができる。
	他者と協働する力	他者と協働して課題に取り組もうとしている。	他者の考えを聞き、他者と協働して課題に取り組むことができる。	自ら働きかけ、自他の意見を総合して考え、他者と協働して課題に取り組むことができる。
思考力 判断力 表現力	論理的な思考力、判断力	課題に対し、自分で考えたり、判断したりしようとしている。	課題に対し、論理的に考えたり、判断したりできる。	課題に対し、過去の事象や先哲の考えを参考にして、論理的に考え、判断することができる。
	自己の考えを表現する力	自己の考えを他者に伝えようとしている。	自己の考えを他者に伝えることができる。	自己の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
学びに向かう力 人間性	異文化理解 他者理解	自己と異なる考えや文化を理解しようとしている。	自己と異なる考えや文化を理解できる。	自己と異なる考えや文化を理解・受容し、共生していくことができる。
	自らを振り返り、変える力	自己を振り返り、課題をみつめようとしている。	自己を振り返り、課題を見つけ、改善目標を考えることができる。	他者の意見を取り入れながら自己の振り返りと改善を継続的に行うことができる。
	主体的に学びに取り組む力	与えられた課題に対して学ぼうとしている。	与えられた課題に対して取り組んだり、学んだりすることができる。	既存の知識を生かし、与えられた課題だけではなく、様々なことに関心を持ち主体的に学ぶことができる。

目指すべき生徒の将来像

- 「望ましい勤労観・職業観、創造性」を持ち、様々な課題に主体的に取り組むことのできる人材
- 資格取得はもとより、確かな教養を身に付け、常に変化する社会を生き抜いていく人材